

森林吸収源インベントリ情報整備事業 現地講習会(埼玉県会場)

開催地：埼玉県飯能市大字南字栃屋谷（格子点 ID 110075）

開催日：2007（平成 19）年 6 月 29 日（金）

講師：松浦(責任者)・吉永・三浦・石塚・小林・伊藤^優・山田・長倉・橋本^昌（森林総研）

参加者：

田島・田口・根岸・江森（埼玉県農林総合研究センター） 総谷（千葉県森林研究センター）
浅野・小野里・竹内・中村（群馬県林業試験場） 山内（長野県林業総合センター）
関口・田中（茨城県林業技術センター） 片桐（岡山県林業試験場）

特別参加：安藤（東京農業大学）

概要：

西武池袋線飯能駅前に集合。車で約 40 分移動し、アクセスのよいスギ人工林へ。地質は中生層の砂岩であり、表層部には火山灰が堆積。これらを母材とする角礫を含む土壌。自己紹介とスケジュール説明の後、午前中はまず 4 班に分かれて NESW 地点で土壌炭素蓄積量調査の説明及び実際の試料採取。昼食休憩後、現地で用意した枯死木サンプルを用いて、枯死木調査の分解度の判定について説明。その後、土壌炭素蓄積量調査の残りを完了させて、NW 地点で代表断面調査の説明（本調査地はグレード 2 であったが、講習のため代表断面調査も実施。試料は森林総研に持ち帰った）。土壌は薄い A 層（8cm）の B_D 型土壌。礫の多い土壌断面につき容積重測定用定体積試料の一部はブロックサンプリングで採取。

現場は 40 度近い急傾斜地であり、事前の天気予報通り雨が降ると実習が困難になる恐れがあったが、降り出したのは講習会の終わりごろであったため、無事に予定通り終了。

おおよその時間配分：

- 09:15 飯能駅前出発
- 10:15～ 全体説明の後、NESW へ移動して土壌炭素蓄積量調査
- 12:00～ 昼食、休憩（一部の班は昼食を早く済まして作業再開）
- 12:45～ 枯死木調査の分解度の判定について説明
- 13:00～ 土壌炭素蓄積量調査の続き
- 14:30～ 土壌炭素蓄積量調査を終えた班から代表断面調査へ
- 16:30 講習会終了、解散



自己紹介スケジュール説明



代表断面調査



代表断面 （B_D型と判定）